

豚コレラ発生速報 (都道府県名 沖縄県 発生農家No. 4)

発生場所	名護市字済井出160-9				氏名	松田善登		
決定月日	61. 10. 6		家畜保健衛生所名	北部家畜保健衛生所				
飼養状況			発生頭羽数	転帰内訳			ワクチン接種状況 10月2日接種済	
飼養区分	月(日)令体重	頭羽数		死亡	鑑定殺	命令殺		自衛殺
種雄豚		7	0					
種雌豚		120	0					
哺乳豚		176	0					
育成豚		217	4	0	0	4		0
肉豚								
計		520	4	0	0	4	0	
発生経過	10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけ緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査、解剖所見の結果豚コレラと10月6日に決定した。							
臨床症状	発熱(40.5~42°C)元気及び食欲廃絶、歩様蹠蹠、泥状下痢、黄色水様下痢、嘔吐、腹式呼吸、眼瞼腫脹、眼結膜充血、便秘、神経症状(前肢の空中浮遊運動)、チアノーゼ(耳翼、顔面、腹部、臀部、腋下部等)を呈する。							
剖検所見	心…心のう水増量、心腫大、腎…腫大、針状出血 膀胱…赤色斑密発、点状出血、 リンパ節…水腫性腫大、充出血辺縁性出血							
その他の検査成績	臨床所見、解剖所見により決定した。							
移動制限地域	名護市字済井出地域		戸数	10戸	頭羽数	6,514頭		
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	(1)発生豚舎に対する予防注射の実施 (2)オルソ剤、ヨード剤、石灰剤による畜舎、汚染の疑いある物品の消毒							
発生家畜の処分 (処分方法、焼却 埋却場所)	発生豚については全て10月6日殺処分し、埋却した。							
備考								

豚コレラ発生速報 (都道府県名 沖縄県 発生農家No. 4)

発生場所	名護市字済井出160-9				氏名	松田善登		
決定月日	61. 10. 8		家畜保健衛生所名	北部家畜保健衛生所				
飼養状況			発生頭羽数	転帰内訳				ワクチン接種状況 接種済10月2日
飼養区分	月(日)令体重	頭羽数		死亡	鑑定殺	命令殺	自衛殺	
種雄豚		7	0					
種雌豚		120	0					
哺乳豚		176	0					
育成豚		213	26	0	1	25		
肉豚								
小計		515	26	0	1	25	0	
累計		516	30	0	1	29	0	
発生経過	10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけ緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査、解剖所見の結果豚コレラと10月8日に決定した。							
臨床症状	発熱(40.5~42℃)元気及び食欲廃絶、歩様蹠蹠、泥状下痢、黄色水様下痢、嘔吐、腹式呼吸、眼瞼腫脹、眼結膜充血、便秘、神経症状(前肢の空中浮遊運動)、チアノーゼ(耳翼、顔面、腹部、臀部、腋下部等)を呈する。							
剖検所見	心…心のう水増量、心腫大、腎…腫大、針状出血 膀胱…赤色斑密発、点状出血、 リンパ節…水腫性腫大、充出血辺縁性出血							
その他の検査成績	臨床所見、解剖所見により決定した。							
移動制限地域	名護市字済井出地域		戸数	10戸	頭羽数	6,514頭		
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	(1)発生豚舎に対する予防注射の実施 (2)オルソ剤、ヨード剤、石灰剤による畜舎、汚染の疑いある物品の消毒							
発生家畜の処分 (処分方法、焼却埋却場所)	発生豚については全て10月8日殺処分し、埋却した。							
備考								

豚コレラ発生速報 (都道府県名
沖縄県 発生農家No.
5)

発生場所	名護市字済井出252				氏名	玉城好明		
決定月日	61. 10. 6		家畜保健衛生所名	北部家畜保健衛生所				
飼養状況			発生頭羽数	転帰内訳				ワクチン接種状況
飼養区分	月(日)令体重	頭羽数		死	亡	鑑定殺	命令殺	
種雄豚		5	0					10月2日接種済
種雌豚		85	0					
哺乳豚		160	0					
育成豚		172	0					
肉豚		600	4	0	0	4	0	
計		1,022	4	0	0	4	0	
発生経過	10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけ緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査、解剖所見の結果豚コレラと10月6日に決定した。							
臨床症状	発熱(40.5~42°C)元気及び食欲廃絶、歩様蹠蹠、泥状下痢、黄色水様下痢、嘔吐、腹式呼吸、眼瞼腫脹、眼結膜充血、便秘、神経症状(前肢の空中浮遊運動)、チアノーゼ(耳翼、顔面、腹部、臀部、腋下部等)を呈する。							
剖検所見	心…心のう水増量、心腫大、腎…腫大、針状出血 膀胱…赤色斑密発、点状出血、 リンパ節…水腫性腫大、充出血辺縁性出血							
その他の検査成績	臨床所見、解剖所見により決定した。							
移動制限地域	名護市字済井出地域		戸数	10戸	頭羽数	6,514頭		
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	(1)発生豚舎に対する予防注射の実施 (2)オルソ剤、ヨード剤、石灰剤による畜舎、汚染の疑いある物品の消毒							
発生家畜の処分 (処分方法、焼却 埋却場所)	発生豚については全て10月6日殺処分し、埋却した。							
備考								

豚コレラ発生速報 (都道府県名
沖縄県 発生農家No.
5)

発生場所	名護市字済井出252			氏名	玉城好明		
決定月日	61. 10. 8		家畜保健衛生所名	北部家畜保健衛生所			
飼養状況		発生頭羽数	転帰内訳				ワクチン接種状況
飼養区分	月(日)令体重		頭羽数	死亡	鑑定殺	命令殺	
種雄豚		5	0				接種済10月2日
種雌豚		85	0				
哺乳豚		160	0				
育成豚		172	0				
肉豚		596	38	0	1	37	
小計		1,018	38	0	1	37	0
累計		1,018	42	0	1	41	0
発生経過	10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけ緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査、解剖所見の結果豚コレラと10月8日に決定した。						
臨床症状	発熱(40.5~42℃)元気及び食欲廃絶、歩様蹠蹠、泥状下痢、黄色水様下痢、嘔吐、腹式呼吸、眼瞼腫脹、眼結膜充血、便秘、神経症状(前肢の空中浮遊運動)、チアノーゼ(耳翼、顔面、腹部、臀部、腋下部等)を呈する。						
剖検所見	心…心のう水増量、心腫大、腎…腫大、針状出血 膀胱…赤色斑密発、点状出血、 リンパ節…水腫性腫大、充出血辺縁性出血						
他の検査成績	臨床所見、解剖所見により決定した。						
移動制限地域	名護市字済井出地域	戸数	10戸	頭羽数	6,514頭		
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	(1)発生豚舎に対する予防注射の実施 (2)オルソ剤、ヨード剤、石灰剤による畜舎、汚染の疑いある物品の消毒						
発生家畜の処分 (処分方法、焼却 埋却場所)	発生豚について、よ全て10月8日殺処分し、埋却した。						
備考							

豚コレラ発生速報 (都道府県名 沖縄県 発生農家No. 6)

発生場所	本部町字辺名地1,434				氏名	金城永信		
決定月日	61.10.6		家畜保健衛生所名	北部家畜保健衛生所				
飼養状況			発生頭羽数	転帰内訳			ワクチン接種状況	
飼養区分	月(日)令体重	頭羽数	死亡	鑑定殺	命令殺	自衛殺		
種雄豚		29	0				9月26日接種済	
種雌豚		480	0					
哺乳豚		585	0					
育成豚		1,850	594	85	3	506	0	10/5~7日接種済
肉豚		1,150	2	0	2	0	0	9月26日 "
計		4,094	596	85	5	506	0	
発生経過	10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけ緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査、解剖所見の結果豚コレラと10月6日に決定した。							
臨床症状	発熱(40.5~42°C)元気及び食欲廃絶、歩様蹠蹠、泥状下痢、黄色水様下痢、嘔吐、腹式呼吸、眼瞼腫脹、眼結膜充血、便秘、神経症状(前肢の空中浮遊運動)、チアノーゼ(耳翼、顔面、腹部、臀部、腋下部等)を呈する。							
剖検所見	心…心のう水増量、心腫大、腎…腫大、針状出血 膀胱…赤色斑密発、点状出血、 リンパ節…水腫性腫大、充出血辺縁性出血							
その他の検査成績	臨床所見、解剖所見により決定した。							
移動制限地域	本部町字辺名地地域		戸数	3戸	頭羽数	5,585頭		
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	(1)発生豚舎に対する予防注射の実施 (2)オルソ剤、ヨード剤、石灰剤による畜舎、汚染の疑いある物品の消毒							
発生家畜の処分 (処分方法、焼却埋却場所)	発生豚については全て10月6日殺処分し、埋却した。							
備考								

豚コレラ発生速報 (都道府県名 沖縄県 発生農家No.)
6

発生場所	本部町字辺名地1,434				氏名	金城永信		
決定月日	61. 10. 8		家畜保健衛生所名	北部家畜保健衛生所				
飼養状況			発生頭羽数	転帰内訳			ワクチン接種状況 9月26日 "接種済 10月5~7日 9月26日	
飼養区分	月(日)令体重	頭羽数		死亡	鑑定殺	命令殺		自衛殺
種雄豚		29	0	0				
種雌豚		480	0					
哺乳豚		585	0					
育成豚		1,256	262	0	1	261		0
肉豚		1,148	0	0				
	小計	3,498	262	0	1	261		0
	累計	3,498	858	85	6	767		0
発生経過	10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけ緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査、解剖所見の結果豚コレラと10月8日に決定した。							
臨床症状	発熱(40.5~42℃)元気及び食欲廃絶、歩様蹠蹠、泥状下痢、黄色水様下痢、嘔吐、腹式呼吸、眼瞼腫脹、眼結膜充血、便秘、神経症状(前肢の空中浮遊運動)、チアノーゼ(耳翼、顔面、腹部、臀部、腋下部等)を呈する。							
剖検所見	心…心のう水増量、心腫大、腎…腫大、針状出血 膀胱…赤色斑密発、点状出血、 リンパ節…水腫性腫大、充出血辺縁性出血							
その他の検査成績	臨床所見、解剖所見により決定した。							
移動制限地域	本部町字辺名地地域		戸数	3戸	頭羽数	5,585頭		
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	(1)発生豚舎に対する予防注射の実施 (2)オルソ剤、ヨード剤、石灰剤による畜舎、汚染の疑いある物品の消毒							
発生家畜の処分 (処分方法、焼却埋却場所)	発生豚については全て10月8日殺処分し、埋却した。							
備考								

豚コレラ発生速報 (都道府県名 沖縄県 発生農家No.)
6

発生場所	本部町字辺名地1,434				氏名	金城永信		
決定月日	61.10.9 家畜保健衛生所名				北部家畜保健衛生所			
飼養状況			転帰内訳				ワクチン接種状況 9月26日 接種済 "	
飼養区分	月(回)令体重	頭羽数	発生頭羽数	死亡	鑑定殺	命令殺		自衛殺
種雄豚		29	0					
種雌豚		480	0					
哺乳豚		585	0					
育成豚		994	214	0	1	213		0
肉豚		1,148	0					
小計		3,236	214	0	1	213		0
累計		3,236	1,072	85	7	980		0
発生経過	10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけ緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査、解剖所見の結果豚コレラと10月9日に決定した。							
臨床症状	発熱(40.5~42°C)元気及び食欲廃絶、歩様蹠蹠、泥状下痢、黄色水様下痢、嘔吐、腹式呼吸、眼瞼腫脹、眼結膜充血、便秘、神経症状(前肢の空中浮遊運動)、チアノーゼ(耳翼、顔面、腹部、臀部、腋下部等)を呈する。							
剖検所見	心…心のう水増量、心腫大、腎…腫大、針状出血 膀胱…赤色斑密発、点状出血、 リンパ節…水腫性腫大、充出血辺縁性出血							
他の検査成績	臨床所見、解剖所見により決定した。							
移動制限地域	本部町字辺名地地域			戸数	3戸	頭羽数	5,585頭	
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	(1)発生豚舎に対する予防注射の実施 (2)オルソ剤、ヨード剤、石灰剤による畜舎、汚染の疑いある物品の消毒							
発生家畜の処分 (処分方法、焼却 埋却場所)	発生豚については全て10月9日殺処分し、埋却した。							
備考								

豚コレラ発生速報 (都道府県名
沖縄県 発生農家No.
7)

発生場所	本部町字辺名地1,434				氏名	幸地長貞		
決定月日	61.10.6		家畜保健衛生所名	北部家畜保健衛生所				
飼養状況			発生頭羽数	転帰内訳			ワクチン接種状況 10月1日接種済	
飼養区分	月(日)令体重	頭羽数		死亡	鑑定殺	命令殺		自衛殺
種雄豚		6	0					
種雌豚		100	0					
哺乳豚		65	0					
育成豚		120	22	0	0	22		0
肉豚								
計		291	22	0	0	22	0	
発生経過	10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけ緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査、解剖所見の結果豚コレラと10月6日に決定した。							
臨床症状	発熱(40.5~42°C)元気及び食欲廃絶、歩様蹠蹠、泥状下痢、黄色水様下痢、嘔吐、腹式呼吸、眼瞼腫脹、眼結膜充血、便秘、神経症状(前肢の空中浮遊運動)、チアノーゼ(耳翼、顔面、腹部、臀部、腋下部等)を呈する。							
剖検所見	心…心のう水増量、心腫大、腎…腫大、針状出血 膀胱…赤色斑密発、点状出血、 リンパ節…水腫性腫大、充出血辺縁性出血							
その他の検査成績	臨床所見、解剖所見により決定した。							
移動制限地域	本部町字辺名地地域		戸数	3戸	頭羽数	5,585頭		
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	(1)発生豚舎に対する予防注射の実施 (2)オルソ剤、ヨード剤、石灰剤による畜舎、汚染の疑いある物品の消毒							
発生家畜の処分 (処分方法、焼却 埋却場所)	発生豚については全て10月6日殺処分し、埋却した。							
備考								

豚コレラ発生速報（沖縄県 発生農家No.8）

発生場所	具志川市字具志川3159-4				氏名	名護朝英	
決定月日	61.10.8		家畜保健衛生所名	中央家畜保健衛生所			
飼養状況		発生頭羽数	転帰内訳				ワクチン接種状況
飼養区分	月(旬)令体重		頭羽数	死亡	鑑定殺	命令殺	
種雄豚							
種雌豚							
哺乳豚							
育成豚	10~30kg	27頭	17頭	0頭	3	0	0
肉豚	40~100	138	24	7	0	0	0
計		165	41	7	3	0	0
発生経過	9月下旬頃、異常豚を発見し、獣医師に診療依頼、10月7日病性鑑定依頼があり中央家畜保健衛生所が調査を行ったところ、臨床症状及び発生状況から伝染病を疑い、県家畜衛生試験場に発病豚3頭、血液7頭分を検査依頼した。10月8日、11:00豚コレラと決定した。						
	臨床症状	食欲不振、元気消失、横臥、耳及び下腹部の紫斑、眼瞼腫脹、眼結膜充血、目やに、犬座姿勢で体温40°C~41.5°C、黄緑色下痢便がみられた。					
剖検所見		肺：心葉中心に肝変化。体表リンパ節：著明な腫大と辺縁の出血性病変 脾：一部軽度の腫大と剖面の渦胞不明瞭。 肝、心、腎、膀胱、その他：著変を認めず。					
	その他の検査成績	血液検査：白血球数の減少（6,700~15,800）及び好中球核の左方移動 ウイルス検査：扁桃の螢光抗体法：陽性 疫学：感染経路等について調査中					
移動制限地域		具志川市字具志川	戸数	20戸	頭羽数	1,824頭	
注射・消毒等の措置 (措買予定も含む)	発生農家の予防注射実施 畜舎内外の消毒 周辺農家の緊急予防注射の実施						
発生家畜の処分 (処分方法、焼却 埋却場所)	埋却						
備考	字具志川の豚の飼養状況 1. 頭数 1,824頭 2. 戸数 20戸						

豚コレラ発生速報(沖縄県 発生農家No.9)

発生場所	糸満市字座波611				氏名	上原佑昇	
決定月日	61.10.9		家畜保健衛生所名	中央家畜保健衛生所			
飼養状況		発生頭羽数	転帰内訳				ワクチン接種状況
飼養区分	月(日)令体重	頭羽数	死亡	鑑定殺	命令殺	自衛殺	
種雄豚							
種雌豚							
哺乳豚							
育成豚	10~30kg	48	17	5	3		豚コレラワクチン接種済10/6
肉豚	40~100	158	17	8			# 10/6
計		206	34	13	3	0	0
発生経過	豚の伝染病が発生しているとの情報を61年10月7日に受け、その日で立入検査を実施した。臨床症状及び発生状況等から豚コレラを疑い当日病豚3頭、血液7頭分を県家畜衛生試験場に搬入した。昭和61年10月9日、豚コレラと決定した。						
臨床症状	食欲不振、元気消失、横臥、耳及び下腹部の紫斑、眼瞼腫脹、眼結膜充血、目やに、犬座姿勢で体温40°C~41.5°C、黄緑色下痢便がみられた。						
剖検所見	体表リンパ節の腫大、出血、肺炎は3頭に共通 1頭のみ胃粘膜、胆のう、膀胱、腎に点状出血 大腸にボタン状潰瘍、しょう膜面の出血						
その他の検査成績	血液検査：白血球の減少、好中球の核の左方移動（骨髄球、後骨髄球の出現） ウィルス検査：扁桃の蛍光抗体法…陽性 疫学：感染経路等について調査中						
移動制限地域	糸満市字	座波、賀数 照屋、阿波根	戸数	23戸	頭羽数	7,500頭	
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	発生農家の予防注射の実施 畜舎内外の消毒、周辺農家の緊急予防注射の実施						
発生家畜の処分 (処分方法、焼却 埋却場所)	埋却						
備考	導入状況：昭和61年8月22日、15頭(20kg)を家畜商より購入した。 A家畜商に会い、導入先について調査中である。 地域の豚コレラワクチン接種月日：昭和61年10月6日完了した。						

豚コレラ発生速報(沖縄県 発生農家
No.10)

発生場所	東風平町字志多伯299の2				氏名	神谷徳繁		
決定月日	61.10.10 家畜保健衛生所名				中央家畜保健衛生所			
飼養状況			転帰内訳				ワクチン接種状況	
飼養区分	月(日)令体重	頭羽数	発生頭羽数	死亡	鑑定殺	命令殺		自衛殺
種雄豚								
種雌豚								
哺乳豚								
育成豚	10~30kg	15	10	3	3			豚コレラワクチン接種済10/3
肉豚	40~100	110	32	11				13頭未接種10/8
計		125	42	14	3			
発生経過	豚の伝染病が発生しているとの情報を61年10月7日に受け、その日で、立入検査を実施した。臨床症状及び発生状況等から、豚コレラを疑い10月8日に病豚3頭、血液7頭分を県家畜衛生試験場に搬入した。10月10日に豚コレラと決定した。							
臨床症状	食欲不振、元気消失、横臥、耳及び下腹部の紫斑、眼瞼腫脹、眼結膜充血、目やに、犬座姿勢で体温40°C~41.5°C、黄緑色下痢便がみられた。							
剖検所見	リンパ節の腫大と辺縁の出血性病変、脾辺縁の出血、1頭に顕著な肺炎、心外膜炎。							
その他の検査成績	病理組織所見：脳…リンパ球、骨髓系細胞による団管性細胞浸潤、グリア細胞の増殖、脾及びリンパ節…リンパ濾胞の不明瞭化、リンパ球の減少。ウイルス検査：扁桃の蛍光抗体法…検査不能。血液検査：3頭中2頭は白血球の著明な減少(3600, 8800), 好中球の核の左方移動(骨髓球, 後骨髓球出現)							
移動制限地域	東風平町 字志多伯 字小城	字当銘	戸数	5戸	頭羽数	290頭		
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	発生農家の予防注射の実施 畜舎内外の消毒、周辺農家の緊急予防注射の実施							
発生家畜の処分 (処分方法、焼却 埋却場所)	埋却							
備考	導入状況：昭和61年7月20日に糸満市より素豚15頭(10kg)を購入した。 導入先のA農家を立入調査したが、特に異常は認められなかった。 地域の豚コレラワクチン接種月日：昭和61年10月3日完了している。							

豚コレラ発生速報(沖縄県) 発生農家
No.11

発生場所	南風原町字喜屋武47				氏名	野原義功	
決定月日	61.10.10 家畜保健衛生所名				中央家畜保健衛生所		
飼養状況		発生頭羽数	転帰内訳				ワクチン接種状況
飼養区分	月(日)令体重		頭羽数	死亡	鑑定殺	命令殺	
種雄豚	250kg	1頭					豚コレラワクチン接種済10/8
種雌豚	180~200	43					" 10/8
哺乳豚	2~20	75					分娩後2週豚は済10/8
育成豚	25	22	19	3			豚コレラワクチン接種済10/8
肉豚							
計		141	19	3	124	0	
発生経過	豚の伝染病が発生しているむね、61年10月7日開業獣医師より連絡を受け立入検査実施、臨床症状及び発生状況等より豚コレラを疑う。病豚3頭、血液、血清7頭分を県家畜衛生試験場に病鑑依頼する。昭和61年10月10日豚コレラと決定した。						
臨床症状	食欲不振、元気消失、黄緑色下痢便、眼瞼腫脹、眼結膜充血、アイパッチ、横臥、耳及び下腹部のチアノーゼ、体温40°C~41.3°Cであった。						
剖検所見	体表リンパ節の腫大、肺炎 他は、著明な病変なし						
その他の検査成績	血液検査：白血球の減少(4,100~7,800)、好中球の核の左方移動、 後骨髄球の出現 ウィルス検査：扁桃の蛍光抗体法…陽性 疫学：感染経路について調査中						
移動制限地域	南風原町喜屋武	戸数	16戸	頭羽数	3,500頭		
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	発生農家の畜舎内外の消毒を実施するとともに豚コレラの予防注射実施 周辺農家の畜舎内外の消毒、及び豚コレラの予防注射実施						
発生家畜の処分 (処分方法、焼却 埋却場所)	埋却						
備考	導入状況：昭和61年8月以降導入豚はない。 地域の豚コレラワクチン接種月日：昭和61年10月8日完了した。						

豚コレラ発生速報 (沖縄県) 発生農家
No.12

発生場所	糸満市字阿波根1290-2				氏名	具志保一		
決定月日	61.10.11		家畜保健衛生所名	中央家畜保健衛生所				
飼養状況			発生頭羽数	転帰内訳				ワクチン接種状況
飼養区分	月(日)令体重	頭羽数		死亡	鑑定殺	命令殺	自衛殺	
種雄豚	150~200kg	3					豚コレラワクチン接種済10/10	
種雌豚	150~200kg	20					"	
哺乳豚	2~10kg	32					1週間以上 ワクチン接種10/10	
育成豚	15kg	16	12				豚コレラワクチン未接種	
肉豚	30kg以上	26	12	1	3		豚コレラワクチン接種10/10	
計		97	24	1	3			
発生経過	豚の伝染病が発生しているとの情報を61年10月10日受け、その日に立入検査を実施、臨床症状及び発生状況等から豚コレラを疑い、10月11日に病豚3頭、血液及び血清7頭分を県家畜衛生試験場に病性鑑定を依頼した。昭和61年10月11日の午後7時に決定した。							
	臨床症状	食欲不振、元気消失、黄緑色下痢、眼瞼腫脹、眼結膜充血、アイパッチ、横臥、耳のチアノーゼ、体温40.8°C~41.0°Cであった。						
剖検所見	肺炎							
	他は著変なし							
その他の検査成績	血液検査；白血球の減少(3,000~7,900)、好中球の核の左方移動、後骨髓球の出現							
	ウイルス検査；扁桃の螢光抗体法……陽性							
	疫学；感染経路について調査中							
移動制限地域	糸満市字照屋、阿波根	座波・賀数	戸数	23戸	頭羽数	7,500頭		
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	発生農家の畜舎内外の消毒を実施するとともに豚コレラの予防注射実施 周辺農家の畜舎内外の消毒及び豚コレラワクチンの接種							
発生家畜の処分 (処分方法、焼却 埋却場所)	埋却							
備考	導入；昭和61年9月3日に家畜商より5頭購入、家畜商を調査中。 地域の豚コレラワクチン接種月日：昭和61年10月10日完了した。							